

# ベストマッチ機能

x-rite  
PANTONE®

## プレスルームにおける迅速な色管理／調整

### インキを再調合する前に、X-Rite eXact および IntelliTrax のベストマッチ機能を使用

ベストマッチ機能は、インキ膜厚（オフセット印刷）または色材濃度（フレキソまたはグラビア印刷）を調整し、基準色の近似色が再現可能かどうかを判断します。測定色を基準色に近づけるために、調整ガイドを提示します。

また、目標のインキ色を常に維持するため、色の変動が目視で検出されることはなくなります。

eXact ハンドヘルド分光測色計、eXact InkKeyControl ソフトウェア、IntelliTrax ソフトウェアに、基準値とサンプル濃度データと共に、最も近似する色を再現するためのインキ調整方法を表示します。ベストマッチは迅速、簡単かつ正確なデータを出力する信頼性の高い機能ツールです。作業時間を短縮し、無駄をなくし、印刷品質とワークフローを最適化します。

**ベストマッチ機能は、日常の作業に不可欠なツールです。**



### ベストマッチ機能の利点：

- スポットカラー／プロセスカラーに対応
- 色彩／濃度データ情報を出力
- 推奨される濃度調整に基づいた、基準値に最も近似する色を表示
- 濃度を増減するための調整を推奨
  - オフセット：インキ膜厚
  - グラビア／フレキソ：インキ色材濃度
- 濃度データや推奨値を含む全ての情報を一覧に表示
- GO／NG を素早く判断
- 印刷機のメイクレディおよび印刷作業時にもインキ色をチェック可能

X-Rite eXact

## ベストマッチ機能を使用するタイミング

インキ調色と混合：

インキメーカーのインキ、独自のインキを問わず、膜厚や色材濃度は変動します。そこで、ベストマッチ機能が顧客に指定されたインキ許容値 ( $\Delta E$ ) を確認します。

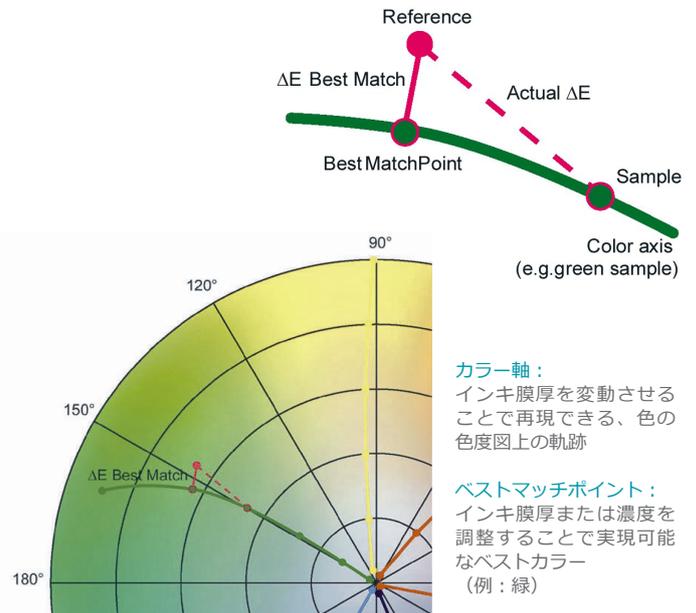
印刷機の設定と印刷作業：

印刷の品質は、各印刷機の様々な要素によって影響されます。一つのインキが、次のインキに混色することがあります。例えば、イエローインキをセットする前にブラックインキをセットすれば、イエローは汚れてしまいます。スポットカラーを次々に使用していくと、変動が発生する場合があります。一方、印刷機を濃度のみで制御すると、このような色変動は見られません。目視評価を行っても、許容値から大幅に外れてしまうことがあり、特にパステル色は、濃度だけでは印刷機で管理することが非常に困難です。ベストマッチ機能は、印刷作業全体において色を監視・修正することが可能です。

ベストマッチ機能は初期段階で監視を開始。濃度だけでなく、インキ色が許容値から外れないよう問題を即座に検出・修正。間違った色で印刷作業を続行してしまうことはありません。

## ベストマッチ機能：

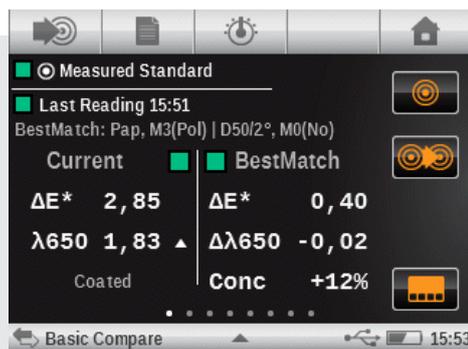
次の例では、2次元の a\*b\* 図面に緑のスポットカラーを示しています。



## eXact でベストマッチ機能を使用

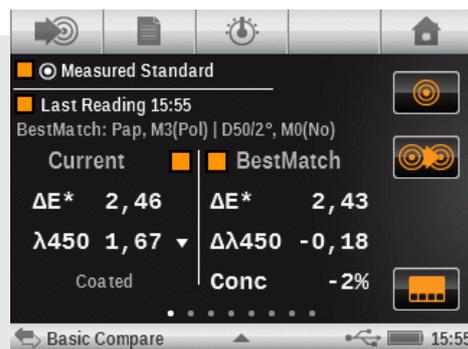
下記は、ベストマッチ機能が測定結果を eXact のディスプレイに表示する例です。

この例では、2つの測定値が緑で表示されています。



- サンプル濃度は、650 nm の中心波長における 1.83 です。
- サンプル濃度から判断すると、ベストマッチを実現するにはインキ膜厚/インキ濃度を D -0.02 / +12% に調整する必要があります。
- 基準値とサンプルの実測  $\Delta E$  は 2.85 です。
- 濃度を推奨値に応じて調整すれば、ベストマッチとなる 0.40 の  $\Delta E$  を達成可能です。
- ベストマッチは許容範囲内です。(最大  $\Delta E$  が 1.5 であることを前提)
- インキは許容範囲内です。濃度は調整可能なため、作業は「GO」となります。

この例では、2つの測定値が橙で表示されています。



- サンプル濃度は、450 nm の中心波長における 1.67 です。
- サンプル濃度から判断すると、ベストマッチを実現するにはインキ膜厚/インキ濃度を D -0.18 / -2% に調整する必要があります。
- 基準値とサンプルの実測  $\Delta E$  は 2.46 です。
- 濃度を推奨値に応じて調整すれば、ベストマッチとなる 2.43 の  $\Delta E$  を達成可能です。
- ベストマッチは許容範囲外です。(最大  $\Delta E$  が 1.5 であることを前提)
- インキは許容範囲外です。再調合が必要となるため、作業は「NG」となります。

# IntelliTrax / eXact InkKeyControl

## ベストマッチ機能を使用するタイミング

シートが測定されたら、プレスツール内のベストマッチ画面に関連情報が表示されます。

シートのスキャンを続行する際、ベスト  $\Delta E$  ゾーンが次のスキャンの濃度ターゲットとなります。また、そのスキャン時にベスト  $\Delta E$  ゾーンが検索され、新しい濃度ターゲットに使用されます。この機能は、入力または測定された  $L^*a^*b^*$  値のベストマッチが確保されるまで続行されます。



### ステップ 1

ジョブを [ベタインキ濃度] に表示します。



### ステップ 2

同じスキャンに対するベストマッチ表示を変更し、濃度ターゲット値 (シアンに 1.18) を記録することで、ベストマッチ  $\Delta E$  (警告マーク下) を実現します。濃度が推奨値に応じて調整されていれば、ベストマッチ  $\Delta E$  は最良の  $\Delta E$  を出力します。



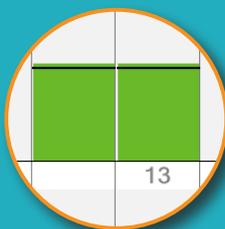
### ステップ 3

スキャンを続行した後、濃度ターゲットが再度変更します。



### 結果

インキ濃度が推奨される濃度ターゲットに調整された後、ベストマッチ  $L^*a^*b^*$  が実現します。



ベストマッチ機能は正確な色を確保します。

ベストマッチ機能に関する詳細は、弊社ウェブサイト  
[www.xrite.co.jp](http://www.xrite.co.jp) をご覧ください。

 x·rite  
**PANTONE®**

L7-467-JA (2015年3月)

**エックスライト社**

〒135-0064 東京都江東区青海2-5-10

テレコムセンタービル西棟6F

TEL : 03 (5579) 6545 FAX : 03 (5579) 6547

[www.xrite.co.jp](http://www.xrite.co.jp)

 [xrite.jp](https://www.facebook.com/xrite.jp)